ママさん体験記

ママさん特派員

聞こえなくても、話せなくても社会へアピールしてほしい！

十月二十七日、「熊本県聴覚障害者情報提供センター」がオープンしました。平成二年六月に施行された身体障害者福祉法に基づく、聴覚障害者のコミュニケーション活動を支援するための施設です。県外からの視察も多い、その近代的設備を、ママさん特派員の正木信子さん（玉名市繁根木）と塚本直子さん（荒尾市下井手）に、じっくり体験していただきました。

熊本市長嶺町。熊本県身体障害者福祉センター内に、点字図書館と共に「熊本県聴覚障害者情報提供センター」はありました。スロープやエレベーターなど、至る所に細やかな配慮が感じられる建物です。

聴覚障害者情報提供センターの業務は、手話入りビデオの制作・貸し出し、手話通訳者の派遣など。「コミュニケーションは一方通行ではダメ。障害者は、情報を受信するだけでなく発信側でもあるべき。それは健常者のためでもあるんです」。自らも聴覚障害者である松永朗所長は熱く語ります。

職員の小野康一さんの案内でセンター内を見学。まず、障害者自身がカメラマンとして情報発信手段のビデオを制作できる「スタジオ」です。ライトアップされたステージ、二つのカメラ。丁度、四人の女性が撮影中でした。第一カメラが出演者を、第二カメラが手話通訳者を映し、放送にも対応できる「手話入りビデオ」が制作されます。

「ホラ、こうするとズームアップに…」

私たちもカメラマンになってみました。「今、撮影していた障害者の方にも、操作法を説明したばかり。大丈夫」と励まされ、恐る恐るカメラの前に。ファインダーを覗き始めると、すっかり夢中。ガラスで仕切られた編集室から小野さんが手話で何か指示を送ります。

「編集室からスタジオへの指示も出せるのね」

編集調整室には放送局並みの機器がズラリ。職員がTV番組に手話を入れる作業をしていました。隣のライブラリーには七百余りのビデオが並び、貸し出されています。

次に、音を体感できるという「ふれあいシアター」へ。音を振動に変える装置が床一面に敷き詰められ、また、難聴の方にはより鮮明に聞こえるよう補聴器誘導ループも設備されています。120インチの画面を前に、床に座りました。手話表現の「白い鳩」が流れ始めると、リズムが〝ビンビン〟床から伝わってきます。かなりの臨場感。まさに体感です。「同じビデオもここで見ると全然反応が違う」と小野さん。

「聞こえない、話せないからコミュニケーションできないわけではない。自力で社会へアピールする力をもってほしい。それが私たちの願いです」

積極的で真摯な姿勢がみなぎって…

正木信子さん

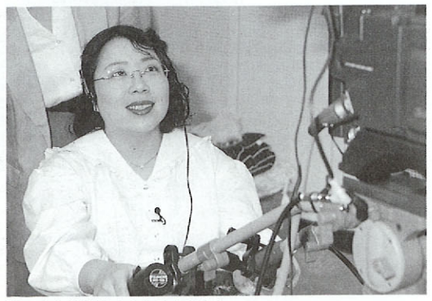
受身の立場でなく社会へアピールしていこうとする積極的な姿勢がみなぎっていました。字幕スーパー挿入機器の横に、ボランティアの人がフィルムからおこした分厚い原稿が置かれていましたが、字幕を作るのは大変な労力と時間がかかるそうです。その上にのしかかる著作権問題。皆さんの真摯に立ち向かっている姿を見ると、多くの人たちが早くこういう活動を理解し、積極的な協力をしてほしいものだと思いました。「ふれあいシアター」では、ジェットコースターのゴーッという響きもさることながら、音楽のリズムを体感した時は、思わず体が動いてしまうようでした。メロディは聞き取れなくても、音楽の持つ楽しさが伝わり、障害者の方の感動がわかるようでした。

「え～と、こうやって右に寄せて…」と正木信子さん

障害者の目線で造られた設備に感動

塚本直子さん

障害者自身の手で運営されているので、障害者の目線に立った設備が整い、内容、活動自体がしっかりしていることに、驚きと共に感動しました。特にスタジオなどはまるでテレビ局のように素晴らしいものでした。ビデオ制作は、皆で体験し作り上げるという大変な仕事のようですが、反面、楽しさもたくさんあると思います。障害者、健常者の壁がなく、一緒に歩いていくことは素晴らしいことです。障害者だけでなく、県民の皆さんも、たくさんの人々と知り合い、いろんな勉強になり、ボランティアもできるので、この施設にどんどん遊びに来られたらいいと思います。このような施設が地方にもどんどんできるといいなと期待しています。


「思ったより簡単！」と塚本直子さん

視聴覚障害者のコミュニケーション手段

点　　字…縦が3個、横が2列の凹凸の点で組み合わせた表音文字
音 声 訳…点字を読むことが困難な方に対し、テープに音声を録音することで、情報を伝える
手　　話…手の動きや顔の表情で言葉を表現する
要約筆記…手話を知らない方に対し、話等の内容を分かりやすく書いて伝える

視聴覚障害者のコミュニケーションをお手伝いするボランティアサークル

●むつみ会／点字
この他、県下各地にありますが、詳細は点字図書館にお尋ね下さい。
熊本県点字図書館
〒862 熊本市長嶺町2255－333 ☎096(383)6333

●さわらび会／音声訳
この他、県下各地にありますが、詳細は点字図書館にお尋ね下さい。

●わかぎ／手話（県下各地に10サークルあります）

●ひまわり／要約筆記
詳細は熊本県ろう者福祉協会にお尋ね下さい。
〒862 熊本市水前寺6丁目9－4☎096(383)5597

ボランティアの養成コース

点字、音声訳…熊本県点字図書館にお問い合わせ下さい。
手話、要約筆記…熊本県ろう者福祉協会にお問い合わせ下さい。

＊熊本県では、上記のボランティアを広く募集しています。あなたもコミュニケーションに不自由されている方のお手伝いをしてみませんか。

もっと福祉 シリーズ4

聴覚障害者情報提供センター1日体験